

❖❖❖ 草創期の心の結集を伝統として ❖❖❖

北海道国際理解教育研究協議会

事務局長 石田 省子（札幌市立平和通小学校長）

北海道国際理解教育研究協議会は、今年で15年目を迎えています。

いつの時代でも、教育は時代を支え歴史を切り開く大きな役割を担ってまいりました。何ごとにおいても、ひたすら目的に向かって歩み続けることは至難のことです。それが個人の努力でなく、志を同じくする人達が組織として協力一致し、歩調を一つに前進し続けるとなるとその難しさはなおさらのものです。

本会15年の歴史の流れの中で、世界は大きく変化してまいりました。ベルリンの壁の崩壊、ソビエト連邦の解体、難民問題等々、まさに世界の動きと共に歩んだ15年であり、ます。環境が変り、価値観が多様化し、科学技術が進歩発展しました。それに伴い文明も進歩し、国際理解教育の現状も変化を生じてまいりました。これから確かに到来するであります「多文化共生社会」の中で、グローバルに考え、問題解決に向け、誰とでも共に参画していける児童・生徒の育成が一層急務になってまいります。

この様な現状の中で、各支部の一人一人の会員の地道な努力の結集が、本会を支え、着実にその成果をあげてまいっております。本年度も、さらに新しい支部（函館・根室）が誕生しました。心からお祝い申し上げます。

私達会員の活動は、本会だけに溜まらず、広く民間の諸団体と手を結びその活動の輪を広げつつあります。本年度は、国際ジュニア・アートキャンプ（北海道・札幌市・北海道新聞社主催）での世界8ヶ国67名の子ども達と100名近い日本の子ども達との合流キャンプがトマムキャンプ場で開催されます。8日間に渡るイベントの中で、本会は札幌芸術の森…野外テントで行われる世界8ヶ国の子どもと日本の子ども達との“ゲーム遊び”と、トマムキャンプ場での“世界8ヶ国の教師と日本人教師との交流”事業を担当します。

本年度は、試験的な意味もありますが、その成果によっては今後の会の発展・充実が期待できそうです。さらに本年度は、昨年組織改善に伴い「研究・組織・庶務」の部門を新しく加え、研修だけでは不足であった「理論研究」を重点的に、ますます研究色の濃い研究団体に脱皮致したいと考えます。新しい組織のもとで一層の活性化を図っていかれたらと思います。本会の歴史を紐解きますと、草創期には数少ない会員一同が、ボランティア精神で燃え上がるような熱意と善意を結集した歴史があります。この精神を本会運営のよき伝統として保持していかれたらと考えます。

最後になりましたが、3年間海外勤務を終えられ、本年度帰国されました17名の先生方には、その労苦に深くご慰労を申し上げ、北海道の国際理解教育の先駆的な役割を担う推進者としてのご活躍を期待致しております。

また日頃より、諸団体ならびに関係諸機関の本会にお寄せ下さいますご厚情に心よりお礼を申し上げます。

平成6年度 北海道国際理解教育研究協議会 役員一覧

《 顧問 》

気境 公男 (元北海道教育委員会教育長)
 中山 素水 (北海道工業大学教授)
 本田 哲也 (初代会長)
 木皿 弘勝 (第2代会長)
 千葉 福男 (第3代会長)
 磯貝 登 (第4代会長)

《 会長 》

大泉 弘 (室蘭市本室蘭中学校校長)

《 副会長 》

中村 勝二 (札幌市立東白石中学校校長)
 豊嶋 隆範 (北見市立中央小学校校長)
 藤川 正吾 (石狩町立花川中学校校長)
 五十嵐一之 (旭川市立高台小学校校長)
 藤本 伸治 (砂原町立沼尻小学校校長)

《 監事 》

田畑 雅浩 (釧路市立共栄中学校校長)
 米沢 克己 (厚真町立厚南中学校校長)

《 理事 》

札幌 福田 國三 (札幌市立琴似中学校校長)
 道央 大津外志男 (栗山町立栗山中学校)
 道北 小川 雅美 (旭川市立東光小学校教頭)
 道東 桑谷 昌芳 (帯広市立東小学校校長)
 道南 森田 勉 (大成町立平田内小学校校長)

事務局長 石田 省子 (札幌市立平和通小学校校長)
 次長 高橋 承造 (札幌市立澄川南小学校教頭)
 佐野 和人 (札幌市立北九条小学校教頭)
 研究部長 高橋 宏 (札幌市立稲陵中学校)
 副部長 細川 道子 (石狩町立南緑小学校)
 研修部長 遠藤 優 (江別市立野幌中学校)
 副部長 天岡 環 (札幌市立北野平小学校)
 広報部長 斎藤 吉文 (札幌市立清田緑小学校)
 副部長 中村 淳 (札幌市立真駒内緑小学校)
 組織部長 沢田 崇 (札幌市立伏古北小学校)
 副部長 石塚 信彦 (岩見沢市立幌向小学校)
 庶務部長 広瀬 保志 (札幌市立三角山小学校)
 副部長 池田 幸一 (札幌市立八軒西小学校)

会計部長 広島 直 (札幌市立平岡南小学校)
 副部長 吉田 博 (札幌市立美しが丘小学校)

《 事務局 》〒003 札幌市白石区本通15丁目
 平和通小学校内 ☎011-863-0235

[札幌支部]

会長 福田 國三 (札幌市立琴似中学校校長)
 副会長 一関 庶路 (札幌市立野幌西小学校教頭)
 佐野 和人 (札幌市立北九条小学校教頭)
 藤原 勲夫 (札幌市立北野平小学校)
 事務局長 大竹 伸一 (札幌市立明園中学校)
 研究部長 真木 孝輝 (札幌市立豊園小学校)
 研修部長 白石 邦彦 (札幌市立平岡中央小学校)
 広報部長 古里 和雄 (札幌市立発寒南小学校)
 庶務会計 長場 由紀子 (札幌市立清田中学校)

[石狩支部]

会長 藤川 正吾 (石狩町立花川中学校校長)
 副会長 大塚 広二 (千歳市立青葉中学校校長)
 葛浦田正清 (千歳市立桜木小学校校長)
 事務局長 白井 潔 (江別市立江別第三中学校校長)
 次長 遠藤 優 (江別市立野幌中学校)
 次長 桜田 和雄 (江別市立大麻小学校)

[空知支部]

会長 東岡 正広 (芦別市立芦別中学校校長)
 副会長 上坂 功 (夕張市立鹿ノ谷小学校校長)
 一条 敏 (長沼町立南長沼小学校校長)
 事務局長 大津 外志男 (栗山町立栗山中学校)

[渡島支部]

会長 藤本 伸治 (砂原町立沼尻小学校校長)
 副会長 飯田 幸三 (長万部町立静狩小学校教頭)
 田口 公紀 (戸井町立瀬光中学校教頭)
 事務局長 田子 信 (八雲養護学校)

[桧山支部]

会 長 大島 安長 (江差町立江差小学校校長)
副会長 森田 勉 (大成町立平田内小学校校長)
和田 雄行 (今金町立神丘小学校校長)
事務局長 豊田 収 (乙部町立姫川中学校教頭)

[十勝支部]

会 長 寺本 吉明 (芽室町立芽室小学校校長)
副会長 堂畑 尚一 (上土幌町立上土幌小学校校長)
山上 貞次郎 (足寄町立東小学校校長)
桑谷 昌芳 (帯広市立東小学校校長)
事務局長 笠松 信一 (本別町立勇足小学校校長)

[上川・旭川支部]

会 長 高畑 秀興 (美瑛町立美瑛中学校校長)
副会長 五十嵐一之 (旭川市立高台小学校校長)
貝津 肇 (旭川市立千代ヶ岡中学校校長)
小川 雅美 (旭川市立東光小学校教頭)
事務局長 松倉 康夫 (旭川市立桜岡中学校)

[網走支部]

会 長 豊嶋 隆範 (北見市立中央小学校校長)
副会長 江戸 良光 (興部町立興部中学校校長)
米沢 淳 (常呂町立常呂中学校校長)
可児 満夫 (遠軽町立遠軽中学校校長)
長尾 守 (北見市立若松小学校校長)
事務局長 関 全 (興部町立富丘小学校校長)

[釧路支部]

会 長 田畑 雅皓 (釧路市立共栄中学校校長)
副会長 千葉 正 (釧路町立富原中学校校長)
秋山 隆 (釧路市立春採中学校校長)
事務局長 樋原 永幸 (釧路町立知方学小学校教頭)

[胆振支部]

会 長 大泉 弘 (室蘭市立本室蘭中学校校長)
副会長 深谷 守 (穂別町立穂別小学校校長)
佐藤 幸公 (伊達市立東小学校校長)
古川 春朗 (苫小牧市立明倫中学校校長)
大野 重利 (室蘭市立東中学校校長)
事務局長 木山 春生 (室蘭市立本室蘭中学校教頭)

[留萌支部]

会 長 横山 充 (留萌市立港北小学校校長)
副会長 富田 泰雄 (小平町立鬼鹿小学校校長)
本郷 伸一 (苫前町立古丹別中学校校長)
小滝 孝夫 (道立留萌高等学校教頭)
事務局長 平野 和正 (増毛町立増毛中学校)

[後志支部]

会 長 菊地 忠敬 (蘭越町立御成小学校校長)
副会長 尾崎 宣文 (蘭越町立目名小学校校長)
須貝 亨 (喜茂別町立喜茂別中学校教頭)
事務局長 射守谷秀治 (真狩町立美原小学校)

[小樽支部]

会 長 高橋 徹 (小樽市立手宮西小学校校長)
副会長 菊地 勝 (小樽市立望洋台小学校教頭)
高橋 悦男 (小樽市立色内小学校教頭)
事務局長 上泉 哲 (小樽市立緑小学校)

[根室支部]

会 長 川島 武 (羅臼町立羅臼中学校校長)
副会長 中村 長治 (根室市立和田小学校校長)
青山 伸一 (標茶町立川北中学校教頭)
事務局長 高橋 将 (別海村立中西別中学校教頭)

[日高支部]

代表 笹川 幸一 (静内町立山手小学校教頭)
副代表 清水 聡 (三石町立延出小学校教頭)
事務局長 根城 健 (新冠町立美字小学校教頭)

[宗谷支部]

代表 庄司 昭志登 (浜頓別町立頓別小学校校長)

[函館支部]

会 長 笠井 敬一 (函館市立日吉が丘小学校校長)
副会長 佐々木 聡 (函館市立桐花中学校教頭)
小笠原 雅 (函館市立光成中学校教頭)
高橋 勇 (函館市立日吉が丘小学校教頭)
尾関 俊介 (函館市立港小学校教頭)
事務局長 高橋 貞 (函館市立大川中学校)
次長 佐々木宏二 (函館市立日吉が丘小学校)

平成6年度

業務計画

北海道国際理解教育研究協議会

[事務局]

1. 総会の企画運営
2. 事務局会議の開催
3. 部長会の開催
4. 各部の業務全般に関わり、連絡・調整・助言に当たる
5. 第15回北海道国際理解教育研究大会（石狩大会）の企画運営への参加
6. 各支部との連携
7. その他業務推進に関わる事

[会計部業務事業計画]

1. 基本方針 北海道国際理解教育研究協議会の研究活動の充実、発展に寄与できるような会計執行に努める
2. 活動計画
 - ア、平成6年度会計予算案作成、提出
 - イ、年会費の徴収
 - ウ、海外派遣者激励会の予算案作成、会計執行、決算
 - エ、第15回全道大会に関する事務局関係の予算案作成、会計執行、決算
 - オ、平成6年度在外教育施設派遣教員帰国報告書に関わる予算作成、会計執行、決算
 - カ、その他会計に関する事
 - キ、平成6年度会計決算案作成、会計監査

[庶務部業務事業計画]

1. 基本方針 事務局および各部との連携を密にして、庶務部事業の円滑な推進を図り、事務局運営に寄与する
2. 活動計画
 - ア、道総会に関する業務（案内・集約・礼状など）
 - イ、激励会に関する業務（案内・集約・礼状など）
 - ウ、事務局会議・大会運営委員会に関する業務
 - エ、第15回全道大会に関する業務
 - オ、他団体との連携
 - カ、その他諸文書に関する業務
 - キ、その他庶務的業務

[組織部活動事業計画]

- 1, **基本方針** 事務局および各部との連携を図りながら、組織の充実・発展に努める
- 2, **活動計画**
 - ア、全会員の名簿の早期作成、発送
 - イ、会員募集案内の発送と回収
 - ウ、第15回全道大会に関する業務
 - エ、海外派遣者激励会
 - オ、その他組織部に関する業務

[広報部活動事業計画]

- 1, **基本方針**
 - ア、会員相互の研修と連携のかけ橋とする
 - イ、研究活動の広報誌としての機能を果たす
 - ウ、地域活動の様子を紹介し、交流する
- 2, **発行計画** ア、研究広報誌・事務局だより 年3～4回発行

[研修部活動事業計画]

- 1, **基本方針** 北海道国際理解教育研究協議会の充実、発展に寄与できるような事業の推進に努める
- 2, **活動計画**
 - ア、会員相互の研修会
 - イ、国際理解教育に関する資料収集、資料保管
 - ウ、各支部の実践資料収集
 - エ、学術調査旅行の実施
 - オ、その他研修部に関する業務

[研究部事業計画]

- 1, **基本方針** 全道大会の研究主題や内容を深めるとともに、実践に裏付けられた研究の推進に当たる
会員一人ひとりの協力を得て、より充実した研究の推進に当たる
- 2, **活動計画**
 - ア、国際理解教育についての理論研究を行う
 - イ、国際理解教育のカリキュラムについての提言をする
 - ウ、全道大会の研究をすすめる
 - エ、全道大会の運営に協力する
 - オ、研究推進の充実を図る

平成5年度

会務報告

北海道国際理解教育研究協議会

平成5年

- 3・8 平成4年度 理事会・総会（ホテル・アカシア）
平成5年度 在外教育施設派遣教員激励会
- 5・22 全国大会（平成5年度 東京）提言者決定
釧路寿小 戸松 栄 旭川近文小 佐藤 勉 札幌伏古北小 澤田 崇
- 8・4 全国理事会（会長出席）
- 8・5 全国海外子女教育研究会・全国国際理解教育研究会（東京大会）
～6
- 8・13 会報『NO, 26』発行
- 8・28*札幌国際理解教育研究会（北野平小学校）
- 10・8 平成5年度 北海道国際理解教育研究会 『釧路大会』
研究授業・講演会『市岡 康子 氏』
- 10・20 会報『NO, 27』発行
- 11・6*胆振国際理解教育研究大会
- 11・26*網走管内国際理解教育研究大会「上湧別大会」

平成6年

- 1・28 平成6年度 在外教育施設派遣教員名簿（道教委より）
- 2・10 釧路地方国際理解教育研究会（藤原文夫会長）釧路管内教育実践賞を
授与される
- 2・23 会報『NO, 28』発行
- 2・26 平成5年度 帰国報告集完成
北海道国際理解教育研究会釧路大会研究収録配布
- 3・7 平成5年度 理事会・総会（ホテル・アカシア）
平成6年度 在外教育施設派遣教員研修会
平成6年度 在外教育施設派遣教員激励会

平成6年3月帰国 在外教育施設派遣教員一覧

管内	所属	職名	氏名	派遣先		
				国名	日本人学校名	職名
石狩	札幌市立常盤中学校	教頭	大潟 勝	アメリカ	デトロイト補	教頭
	札幌市立美しが丘小	教諭	吉田 博	オーストラリア	シドニー	教諭
	江別市立大麻小学校	教諭	小島 雅人	スイス	ジュネーブ補	教諭
後志	小樽市立塩谷中学校	教諭	佐々木俊朗	インドネシア	ジャカルタ	教諭
	岩内町立岩内第一中	教諭	橋本 直樹	マレーシア	クアラルumpur	教諭
空知	滝川市立江陵中学校	教諭	吉田 英孝	チェコスロバキア	プラハ	教諭
上川	当麻町立当麻小学校	教諭	清治 信一	刊	サンチアゴ	教諭
	旭川市立神楽中学校	教諭	柿崎 秀樹	ドイツ	フランクフルト	教諭
	旭川市立末広小学校	教諭	古川 正洋	ロシア	モスクワ	教諭
網走	網走市立潮見小学校	教諭	田中 章子	スペイン	ラスパルマス	教諭
胆振	室蘭市立港南中学校	校長	木下 昌司	インドネシア	メダン	校長
十勝	帯広市立稲田小学校	教諭	中岡 信一	韓国	香港	教諭
	帯広市立花園小学校	教諭	笹木 卓三	ペルー	リマ	教諭
	豊頃町立茂岩小学校	教諭	鎌田 一寿	トルコ	イスタンブール	教諭
釧路	釧路市立共栄中学校	教諭	高尾 稔	ミャンマー	ヤンゴン	教諭
根室	標津町立標津小学校	校長	細見 浩	中華人民共和	北京	校長
石狩	広島町立大曲東小	教頭	出淵 護	ブラジル	サンパウロ	教頭

……今年帰国されました先生方 3年間の海外勤務ご苦労様でした。……

第4回全国国際理解教育・海外子女教育研究大会北海道ブロック大会
 第15回北海道国際理解教育研究大会石狩大会
 第5回石狩管内国際理解教育研究大会

大会主題

豊かでたくましい心をもち 世界に目を開く子供の育成
 ～ 教師の意識変革と学校全体における実践の拡大を目指して ～

- 1 期 日 平成6年11月10日(木)～11日(金)
- 2 会 場 石狩町立花川中学校
石狩町花川北コミュニティセンター
- 3 主 催 全国海外子女教育・国際理解教育研究協議会
北海道国際理解教育研究協議会 石狩町教育委員会
石狩管内国際理解教育研究協議会
- 4 協力校 石狩町立南線幼稚園(総合活動)
石狩町立若葉小学校(生活科、社会科、国語科)
石狩町立花川中学校(音楽科、社会科、道徳)
北海道石狩南高等学校(英語)
- 5 分科会
 - 第1分科会 【学校全体としての国際理解教育の推進体制の確立】
 - 学校経営上の位置付け
 - 全体計画の作成
 - 指導計画の作成
 - 第2分科会 【教科・科目等における国際理解教育の実践】～ 小・教諭
 - の1 ○教科・科目の目標・内容と国際理解教育の授業
 - 学年の発達段階と国際理解教育の授業
 - 幼児児童生徒の認識を深め、意欲化を図る授業のあり方
 - 第2分科会 【教科・科目等における国際理解教育の実践】～ 中・教 高・教諭
 - の2 ○教科・科目の目標・内容と国際理解教育の授業
 - 学年の発達段階と国際理解教育の授業
 - 幼児児童生徒の認識を深め、意欲化を図る授業のあり方
 - 第3分科会 【道徳、特別活動における国際理解教育の実践】～ 小・教諭
 - の1 ○道徳、特別活動の目標・内容と国際理解教育の授業
 - 学年の発達段階と国際理解教育の授業
 - 児童生徒の認識を深め、意欲化を図る授業のあり方
 - 第3分科会 【道徳、特別活動における国際理解教育の実践】～ 中・教 高・教諭
 - の2 ○道徳、特別活動の目標・内容と国際理解教育の授業
 - 学年の発達段階と国際理解教育の授業
 - 児童生徒の認識を深め、意欲化を図る授業のあり方

お知らせ

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

第21回

全国海外子女教育研究大会

全国国際理解教育研究大会

新潟大会

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

主催 全国海外子女教育研究協議会

東京都海外子女教育研究会

大会主題 明日の世界を開く、心豊かな子どもの育成
～地域に根ざした国際理解活動の推進～

期日 平成6年8月4日(木) 5日(金)

会場 新潟市公会堂・新潟市音楽文化会館

日程

8月3日(水) 全国海外子女教育研究協議会 理事会・研究担当者会

8月4日(木) 開会式

記念講演 新潟中央短期大学学長 西村 香積 氏

『環日本海交流と国際理解教育』

分科会 ①帰国子女教育の現状と課題

②在外教育施設等での教育とその問題点

③学校現場における国際理解教育

④地域社会における国際理解のための活動

(研究発表 札幌市立明園中学校 大竹伸一教諭他)

レセプション 『新潟から世界の夕べ』

8月5日(金) スペシャルプログラム

パネルディスカッション

『地域に根ざした国際理解教育』

*連絡先 大泉 弘 ☎0143-59-2681

Fax 0143-59-2667

海外勤務をおえて

補習校をご存じですか？

札幌市立常盤中学校教頭 大潟 勝

デトロイト市（アメリカ合衆国）より帰国して、もう2カ月たちました。

この間、いろいろな所でお話をする機会を得ましたが、補習授業校なるものを承知している方がとても少ないので、デトロイトりんご会補習授業校に3年間勤務した者としてはいささか寂しい思いを致しました。そのような訳です、少々、補習校について紹介させて下さい。

海外には約5万人の児童生徒がおり、それぞれのお国柄の中で暮しております。その内、約21000人が北米にあり、実にその75%に当たる15700余の子ども達が、日本人学校とは異なる160校余りの「補習授業校」に通学しております。これらの子ども達のほとんどは月曜日から金曜日まで現地アメリカの学校に通学し、アメリカの教育を受けています。従って、日本の教育を受ける機会がありません。そこで、せめて土曜日だけでも日本の教育（それが一部であっても）を受けさせたいとの切なる願いから、日本人会や子を持つ親が出資をして設立したものが補習授業校なるものです。

いきおい、一週1日（土曜日）ですので教科に限りがあり、国語、算数（数学）中心に6時間程度にしかなりません。長い夏休みなどもありますから、精々、1年間に43日から45日（270時間弱）です。それでも、入学式、運動会・球技大会、野外学習、父母懇談会、卒業式等々行います。

先生方は現地で日本人を「講師」として雇うので、半分素人です。

校舎（教室、屋体等）は借り物、教材教具の多くは日本からの取り寄せだから高価であるし、十分満たす訳ではありません。まるで日本人学校とは異なります。補習校だから、いわゆる「学校」ではありません。

しかし、親は「帰国した時のこと」が不安ですから、補習校に対し限り無く「日本の学校らしさ」を求めます。限りあるものの中に期待が大きい訳ですから、派遣教員が創意と工夫をしなければならないことが極めて多くなります。因みに、派遣教員の勤務は火曜日から土曜日の週休2日ですが、帰宅はだいたい午後7時以降になる事が多くなります。疲れは残りますがとてもやりがいがあります。それは国内よりも数段自分自身の判断と裁量で（勿論運営主体や父母の理解と同意の上ですが）行え得るからです。例えば、子ども達の国語の習熟度は滞米年数の長短等で著しく異なりますから、学齢とは関係なく習熟度の似た母集団で学級を編成し、その為のカリキュラムを作成するとか…、「小論文」を専門に学習する時間を設置するとか…等々。

ほとんどの子どもは帰国すると短い期間で日本の学校に適應します。補習校は今どこも問題・悩みを数多く抱えてますが、期待に添えるだけの教育力が既に出来上がっていると云えましょう。

帰国した今、3年間の仕終えた充実感を味わっています。

国際理解教育という言葉が唱えれば、現在の教育の潮流の一方の先端を走っているような気になるらしい。その多くの例の一つとして、学校教育の中に「広く世界に目を向け…」などの、世界や地球を意識した言葉が数多くちりばめられていることが挙げられる。だが、具体化となると「国際理解教育とは何ぞや」という入口論に終始してしまい、具体的な子供の学びとして実践化されるまで時間がかかっているのが本当のところだろう。

「国際」という言葉に振り回されず、私達が今生活している「世界」を見直すことから国際理解教育を出発させてはどうだろうか。

✍ 図 書 紹 介 ✍

バイリンガルの科学 (どうすればなれるのか?)

小野 博 著 (講談社)

〈著者紹介〉 おの ひろし 1945年生まれ
大学入試センター研究開発部教授

バイリンガルというとすぐ帰国子女という言葉と結び付いてしまう。バイリンガルはそれを象徴しているだろう。

著者は長年、海外在住・帰国子女・外国人子女の言語力と知的発達の研究を続けている。この研究を通して、著者は「バイリンガル」についての間違った理解や現実とはあまりにも違う「神話」を明らかにしていく。

特に、著者は人間の言語の習得と教育の始まりとの関係、こどもの母言の習得と教育の関係に着目し、「神話」とは異なるバイリンガルの実像を浮かびあがらせていく。

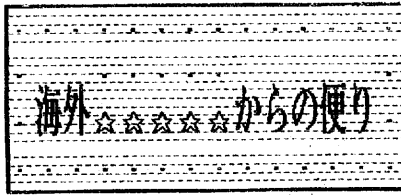
その中でとくに私達が注目しなければならないのは、バイリンガルを作るのは、しっかりと母語であるということである。すなわち、子供の知的な発達が自然に行われることがバイリンガルの育成にとっては必要であり、すくなくとも小学校の時代は一つの言語で教育を受けることが望ましいと主張している。また、将来仕事につかえるバイリンガルになるには、中学・高校まで日本語で教育を受けた後、海外で必要に応じて外国語学習を实践したほうが到達しやすいとも主張している。

この主張は、我々がバイリンガルに抱いていた「神話」を打ち砕く説得力があり言語の習得における教育の果たす役割を再確認させてくれよう。

ややもすると抽象論の終始しやすい問題を、著者はあくまでも具体例を土台に論を進めて行っている。海外における外国語教育の実情を知るのにも大変有益だと思う。

ブルーバックスで、値段が手頃なのも大変うれしい。

〔中村 淳〕



海外教育施設に派遣中の
先生方よりお便りが届いています。

平成4年度派遣 ブリュッセル日本人学校 斎藤 雅樹 先生 より
(森町立森小学校在籍) 元気なお便りが参っております。

今年の冬は何度か寒い日があり、比較的冬の過ごしやすいブリュッセルでも雪を見ることができました。今年の北海道は冬の寒さが厳しく、雪も多いと聞いておりましたが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。……

2学期に運動会が行われ、その後、学級ごとにベルギーの学校の子どもと交流する時期を迎えます。私の学級では日本の遊び(めんこ、凧、ビー玉など)とピクニックを行いました。17名の子どものうち確実にフランス語の理解できるのはたったの1名という中で、私をはじめほとんどの子どもたちは片言のフランス語と身振り手振り、そして笑顔で意思を通じ合わせた2日間でした。

こうしたベルギー人たちと関わりを通して思うことは、私たち大人も子どもも、日本人社会から飛び出してベルギー人の中に入るのがいかに消極的であったかということです。「日本人の常識はベルギー人の非常識」とこちらではよくいいますが、その恐怖にがんじがらめになっているのです。残り一年の中で私自身はもちろん子どもたちとも一緒にベルギーの社会へ積極的に出ようと思います。……

平成5年度派遣 パナマ日本人学校 水見 政一教頭先生より
(江別市立江別第三中学校在籍) 元気なお便りが参っております。

平成5年度派遣 ブラジル マナオス日本人学校 河野 匡宏先生 より
(広島町立広葉中学校在籍) 元気なお便りが届いています。

平成5年度派遣 シカゴ補習校学校長 菊池 征児先生 より
(室蘭市立北辰中学校在籍) 資料…研究紀要・年間指導計画
学校文集を送っていただきました。ボリュームたっぷりです。事務局の方にお預かりしていますので、ぜひ御覧ください。

3月に入ってすっかり春の気配です。日中は15°程度に成り夕方は0°〜と極端ですが、1〜2月の寒波を思うと天と地です。小鳥やリスが顔を見せてくれるので心がなごみます。去る12日にドラマ的な卒業式を終え、19日に修業式〜26日春季研修会、4月2日始業式と次々と時間は去っていきます。現採教師の実践力にほれました。これらの紀要はすべて全職員の汗の結晶です。ご一読いただければ幸いです。

平成5年度派遣 韓国 釜山日本人学校 坪内 夕季子先生より
(旭川市立啓明小学校在籍) 元気なお便りが届いています。

……ここ韓国のお隣の国北朝鮮(朝鮮民主主義人民共和国)のことで、毎日TV・新聞などを賑わしていますが、今のところこの国では、緊迫したムードはありません。どうぞご心配なく。毎朝、NHKの衛星放送で情報を得ています。……

平成5年度派遣 ロスアンジェルス補習校 橋場 仁先生より
(帯広市立花園小学校在籍) 元気なお便りが参っております。

開校25周年を迎えた『あさひ学園』2500名での分校別の入学式の様子、
現地校の制服の問題、続発した日本人留学生の事故など日本の新聞とは違う
現地の様子が書かれています。

……サン・ペドロ留学生事件……

暗いイメージが続いたロスアンジェルスで、また先日、日本人留学生2人がカー
ジャクに遭遇し尊い命をなくしました。現場はロスアンジェルスの南20マイル程の
ところにある古い港町の深夜のスーパーの駐車場でした。近郊はこれまで比較的治
安がよいといわれ、あさひ学園の分校も昨年まであったところでした。しかし、この
治安の良さが警戒心を薄れさせたといっても過言ではありません。日本のマスコミ
は連日大きく取り上げ、事件が「日本人」「HONDAシビックの新車」に深い関
係があるように見えますが、こちらのテレビのインタビューに答えた米国人は
「たまたま被害者が日本人だった」というような事を淡々と話していました。この
こと自体この種の事件が決してめずらしくないことを表しております。ところで、
サン・ペドロは古い港町で決して裕福な人々だけが住むところではありません。そ
の中でも見晴らしのよい高台には、日本人をはじめとした外国の移民が、下町には
昔ながらの生活を営むヒスパニック系の若者たちが住んでいます。高級者を乗り回
す外国からきた留学生たちの生活を、彼等はどんな気持ちで見上げていたのか……
と問いかける地元の新聞もありました。さらにその新聞は次のような文で締めく
くられています。「先日、日本人留学生の追悼式に参列したが、彼等の同級生・友
人という日本人学生が、葬儀会場にベンツ・BMW・レクサス等のピカピカの新車
で乗りつけるのを見た。なんだかとても複雑な気持ちになった……」

事務局会議から

今年度からは事務局はラーメンで有名な西山製麺工場の直ぐ近くの平和通小学校に置かれています。高速道路に近いのか、遠方からの車の便もよく、会議が開かれやすくなりました。組織の一部改正……組織部、庶務部、研究部の新設の件、さらに国際理解教育のカリキュラムづくりに向けての取り組み、石狩大会に向け細かい打ち合わせ、石狩支部との共同研究体制についてなど話し合われました。

国際ジュニア・アートキャンプ

INTERNATIONAL JUNIOR ART CAMP (IAC)

海外の教師との交流会への参加を！

本会は、世界と北海道の子どもたちを対象に「国際交流」を深めることを目的に、北海道・札幌市・北海道新聞社が主催し8月に開催いたします「国際ジュニア・アートキャンプ」(参加 8ヶ国の子ども67名・教員20名)を後援します。

本会はその活動の一つとしてアルファ・リゾート・トマムで行われます、世界各国の引率教師との交流会を行うことになりました。つきましてはたくさんの先生方の参加をお願い致します。

8/4 札幌芸術の森 野外テント 12:30~

遊びの指導 札幌市立八軒西小学校 池田 幸一先生・他

8/8 アルファ・リゾート・トマム **世界各国の引率教師との交流会**

11:30~14:00

(カナダ・中国・ドイツ・韓国・ニュージーランド・タイ・シンガポール・アメリカ)

札幌市立三角山小学校 広瀬 保志先生・他

編集後記

今年の夏は本会の新しい活動として国際ジュニア・アートキャンプへのボランティア参加があるということで新しい試みとしてその成果に注目したいところです。今年の様子いかんでは来年度から大きく企画・運営面にも一歩踏み出せるのではと大いに期待されています。人数も限られていますがサポートとして活動できる方は事務局まで一報いただければと思います。広報担当としましても、本年度も全道に広がる会員、さらに世界各地でご活躍の在外教育施設派遣の会員の皆さんをつなぐ会報として、会の創造的実践をめざし活動していきたいと思ひます。よろしくお祈ひします。